



日綜産業の先行床
施工式足場軽量版

橋梁耐震対策で採用

JFEテクノス(横浜市鶴見区、吉田誠太郎社長)は、日綜産業(東京都中央区、小野大社長)の先行床施工式フロア型シ

JFEテクノス

ステムつり足場の軽量版「クイックデッキライト」を、静岡県島田市川根町の橋梁耐震対策工事に採用、施工の効率化や安全対策に役立てている。写真。

静岡県が発注した「藤枝天竜

線橋梁耐震対策工事(石上橋上部工補強工)の現場で採用した。1972年に完成した石上橋(鋼4径間単純H形鋼桁橋、橋長約84m、幅員6・5m)の橋座拡幅工、水平力分担構造設置工、落橋防止構造設置工などを行う。9日から足場組み立てに入っている。工期は6月7日

～12月23日。

クイックデッキライトは、先行床による安全性や無段差、無隙間による快適な作業空間といった従来版の強みを生かしつつ、約35%軽量化した新バージョン。積載能力は1平方メートル

施工効率化や安全対策に貢献

り200キロ。
JFEテクノスが同製品を採用したのは初めて。1次下請のKAMIYA(静岡県袋井市、神谷隆司社長)から提案を受け、導入を決めた。KAMIYAの100%子会社であるセフティファーストがクイックデッキライトを保有している。

現場代理人を務めるJFEテクノスの大塚秀一氏は「部材が軽く足場組み立てが効率的に行える。チェーンのつり方も自由度が高く、施工への干渉を抑えられる」と導入のメリットを話した。